

平成29年度事業報告

平成29年度は、徳島県から指定管理者として指定を受けたスポーツ施設の効率的で効果的な管理運営と活用を図るとともに、生涯スポーツの普及及び競技力の向上に係る事業を展開し、県民の皆さまのニーズに応えながら健康の保持増進と総合型地域スポーツクラブを活かした地域活性化への支援等に取り組みました。

また、本格的に動き出した「三大国際スポーツ大会」に向けた県の取り組みを、最大限バックアップし、適正且つ魅力ある施設の維持管理に努めてまいりました。

1 競技力向上推進事業（継続事業1）

（1）競技力向上のための教室を開催

本県の競技力の継続的な向上を図るため、専門の外部講師によるスポーツ教室を開催しました。

事業名	開催場所	開催日(回数)	参加延人数
ジュニアフェンシング教室	鳴門	4月～3月（30回）	344人
少年剣道教室	鳴門	4月～3月（115回）	1,483人
弓道教室	鳴門	4月～3月（91回）	92人
テニス教室	蔵本	5月～3月（76回）	1,281人
すもう教室	蔵本	5月～3月（21回）	34人
合計		4月～3月（333回）	3,234人

（2）実践力向上のための応援事業の実施

平成30年3月25日（日）に開催された「とくしまマラソン2018」への参加選手（中級者）を対象に、大学教授や管理栄養士等の専門家による理論と実践の両面にわたる指導を行い、更なるレベルアップを図るとともに、参加者の交流を深めより良いスポーツライフの実現に寄与しました。

事業名	開催場所	開催日(回数)	参加延人数
とくしまマラソン応援講座in鳴門	鳴門市	平成29年11月～ 平成30年3月（8回）	563人

2 指定管理受託事業（その他事業1）

（1）受託施設の管理運営

徳島県から委託（指定管理）を受けた体育施設を、

- ・施設の設置目的を踏まえた事業展開
- ・安全で安心して利用できる施設の提供

- ・利用者視点に立ったサービスの提供
- ・コスト意識の重視
- ・施設老朽化への適切な対応

の5つの視点を施設の管理運営方針に掲げ、社会変化に迅速に対応できる柔軟な発想力をもって、利用者サービスの向上と効果的な運用に取り組み、多くの県民の皆さまに安全・快適にご利用いただける施設となるよう努めました。

また、オロナミンC球場照明塔改築工事・ソイジョイ武道館改修工事等の大規模工事に際し、適切な利用調整と、利用者の安全に万全を期すよう努めました。

◆施設の利用状況（指定管理3施設合計）

本年度は、徳島ヴォルティスの観客数の増加や、鳴門弓道場での国体強化行事への参加人数増加により、前年度に比べ利用者数は大幅に増加しました。しかし、施設使用料については、ソイジョイ武道館の改修により約半年間の利用停止期間があったことや、海外チームの合宿練習などの使用料免除行事が増加したことにより減少しました。また、利用件数の増加は、主に蔵本トレーニング室やちよきんぎょプール個人利用の件数が増えたことによるものです。

	平成29年度	平成28年度	増 減
施設利用件数	56,481件	52,540件	3,941件
施設利用者数	702,388人	684,807人	17,581人
供用時間外	1,357.7時間	936.3時間	421.4時間
施設使用料	約58,633千円	約60,020千円	▲約1,387千円
免除額	約30,728千円	約23,292千円	約7,436千円

◆維持管理

日常の維持管理・点検は職員が実施し、法定点検や専門性の高い点検は専門業者に委託して実施し、安全で安心な利用環境を確保しました。

◆修繕

専門的な資格や高度な技術処置が必要なものは業者に依頼し実施しましたが、軽易な修繕はもちろん、緊急対応が必要な修繕についても職員が自ら速やかに実施するなど一層の内製化を進めました。

また、大規模な修繕を必要とするものについては、必要な安全対策を講じ、速やかに県に報告するなど施設・設備の保全に努めました。

◆衛生管理

日常的に清掃を行うとともに、定期的にワックス掛け等を実施し、手洗い洗剤・消毒液を常備し清潔で美しい施設の保持と、インフルエンザ・ノロウィルス対策や熱中症予防の啓発に努めました。

◆安全管理

開館時間帯には、職員による巡回、閉館後は委託警備会社による警備により、利用者の安全確保と施設の損傷行為等の防止に努めました。また、合宿所利用時はもちろんの事、台風等の非常時やトラブル発生時には職員が宿直し、利用者の安全と利便性向上に努めました。

① 鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）スポーツ施設

◆受託施設：陸上競技場（ポカリスエットスタジアム）、第二陸上競技場、野球場（オロナミンC球場）、体育館（アミノバリューホール）、武道館（ソイジョイ武道館）、弓道場、庭球場、球技場、相撲場、集会所、詰所

◆利用状況

平成29年度は、前年度に比較して利用件数・施設使用料共に減少しました。これは、ソイジョイ武道館の改修により約半年間の利用停止期間があったことや、アミノバリューホールでの使用料免除行事が増加したことが主な要因です。

一方、徳島ヴォルティスの観客数の増加や、国体強化行事への参加人数増加により、施設利用者数は増加しております。

	平成29年度	平成28年度	増 減
施設利用件数	31,659件	32,298件	▲639件
施設利用者数	536,217人	523,578人	12,639人
施設使用料	約34,436千円	約36,910千円	▲約2,474千円

◆施設の管理状況

ポカリスエットスタジアムのピッチについては、芝生の環境適応を見守りながら、きめ細やかな管理を心がけるとともに、土壌や水質の測定など新たな管理手法の確立に取り組みました。散水や芝刈り、ディボット補修等の大半の日常管理を職員が実施し、特殊機械が必要な作業については県内専門業者に委託することにより、良好な管理水準を維持しました。オロナミンC球場は、施設の利用や芝生の育成状況に応じた作業を職員が日常的に実施しました。

全体として施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な埋没配管の破損や故障等が増加傾向にあるため、日常的に細部まで注意を払った点検・整備を行うことにより予防保全に努めました。

（日常維持管理作業）

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
ポカリスエットスタジアム	トラック整備	トラック清掃、高圧洗浄	週1回、随時、大会前後
	館内清掃	掃除、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
	スタンド清掃	空き缶等のゴミ拾い、掃除、塵除去	週1回、随時大会前後

ポカリスエット スタジアム	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、ディボット補修、除草	週2～3回、大会中及び前後
	合宿等	掃除機掛け、拭き掃除	随時、大会・合宿前後
	Jリーグ対応	ロープ張り、ラインカーによるペイント	ホームゲーム前々日又は前日
第二陸上 競技場	トラック整備	トラック清掃	週1回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、除草、消毒	適宜
	館内清掃	掃き掃除、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
オロナミンC 球場	グラウンド整備	土入れ、整地、散水、転圧、石取り	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、雑草除去、施肥、散水、消毒	5月～10月週1回、大会前後
	館内清掃	掃除、塵除去、モップ掛け	毎日、週1回、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、ゴミ拾い	週1回、大会前後
	用器具整備	ベース修理、トンボ製作、器具類点検	週1回、大会前後
アミノバリュー ホール	館内清掃	掃除、塵除去	毎日、随時、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去	随時大会前後
	用器具整備	補修点検、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	植栽管理	刈り込み、散水、除草、消毒	週1回、随時
ソイジョイ 武道館	館内清掃	掃除、モップ掛け、スィーパー	毎日、週2回、随時大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、モップ掛け	随時大会前後
弓道場	館内清掃	掃除、塵除去、モップ掛け、拭き掃除	毎日、週2回、随時大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、施肥、除草、消毒	週1回、随時大会前後
庭球場	コート整備	マットによる整備、コート内・側溝清掃	大会前後及び練習前後
	用器具整備	ネット整備補修、用具整備、レイキ保守	大会前後及び練習前後
	植栽・芝管理	芝・生垣刈り込み、施肥、雑草除去等	5月～10月週1回
球技場	館内清掃	モップ掛け、掃除	毎日、週1回、随時大会前後
	スタンド清掃	ゴミ拾い、掃除	随時大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、除草、消毒	週1回、随時大会前後
	用器具整備	点検補修	随時、大会前後
相撲場	土俵管理	補修点検、周辺清掃	随時、大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、除草、消毒	週1回、随時大会前後
集会所	館内清掃	掃除、照明電球交換、拭き掃除	毎日、週1回、随時使用前後
	室内換気	雨戸点検	随時
各施設の周辺の清掃		掃除、塵除去、ゴミ拾い	随時

(主な修繕)

オロナミンC 球場	レフト側鉄扉修繕	アミノバリュー ホール	吊り物サスペンション更新
	内野スタンドフェンス修繕		トレーニング室空調新設
ポカリスエット スタジアム	スタンド階段段差解消	弓道場	1階玄関扉修繕
	第4ゲートシャッター更新		選手控室空調新設
	大型映像装置プレゼンター修理		男女更衣室内装更新
	円盤・ハンマー投げ用囲い更新		競技用幕更新
第二陸上競技場	男女便所改修	庭球場	人工芝部分補修
武道館	師範室改修		

② 蔵本公園（J Aバンク蔵本公園）スポーツ施設

◆受託施設：野球場（J Aバンク徳島スタジアム）、庭球場（J Aバンクテニスプラザ）
相撲場、プール（J Aバンクちよきんぎょプール）

◆利用状況

平成29年度は、前年度に比較して利用件数・利用者数・使用料すべてで増加しました。昨年度からの、トレーニング室の改装や広報の成果による利用者の増加を柱に、好天に恵まれプールや野球場の利用日数・人数が微増したことが主な要因です。

	平成29年度	平成28年度	増 減
施設利用件数	22,316件	17,336件	4,980件
施設利用者数	128,537人	124,529人	4,008人
施設使用料	約21,036千円	約19,948千円	約1,088千円

◆施設の管理状況

J Aバンク徳島スタジアムでは、館内案内サインの刷新により利便性の向上を図るとともに、職員による芝生の補修や老朽部分の再塗装を行い、施設の保全に努めました。また、J Aバンクちよきんぎょプールの管理運営に当たっては、プール衛生管理者の資格を有する職員を配置し、気温、水温・残留塩素・PH等測定や、検査機関による水質検査により適切な水質管理を行うとともに、安全点検の徹底、プール監視員の配置等、事故防止に万全を尽くしました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
徳島 J A スタ バン ク アク ム	グラウンド整備	土入れ、整地、散水、転圧、石取り	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、雑草除去、施肥、散水、消毒等	生育期間中週1回、大会前後
	館内、スタンド	ダッグアウト、スタンド、便所清掃	毎日、随時、大会前後
	施設の保守	建物保守	適時
	用器具の整備	ベース修理、トンボ製作、草刈機手入れ	週1回、随時、大会前後

JAバンク 徳島 スタジアム	トレーニング室 体育ホール	清掃、用器具整理・補修・更新等	随時
	コート整備	マットによる整備、コート内・側溝の清掃	随時、大会前後、練習前後
JAバンク テニスプラザ	芝・樹木管理	芝・生垣刈込み、施肥、花壇手入れ等	生育中週1回、その他適時
	本館スタンド	清掃、整理整頓、スタンドペンキ塗り等	随時、大会前後、練習前後
	用具の保守	ネットの整備と補修、用具の整備	随時、大会前後、練習前後
	相撲場	土俵整備	土入れ、砂入れ、整地、散水等
JAバンク ちよきんぎょ プール	管理清掃	除草、清掃、側溝の土取り等	週1回、大会・練習前後適時
	非開設時管理	水補充、清掃、薬剤による浄化等	10月～5月適時
	開設中水管理	水温・残留塩素・PH等測定、水質検査	6月～9月随時
	建物等の保全	プール・施設清掃、スタンド・便所清掃等	随時
	芝等の管理	芝の刈込み、施肥、除草、散水等	生育中週1回、その他適時
	用具の整備	コースロープ、ビート板等補修	随時

(主な修繕)

JAバンク 徳島スタジアム	管理用スポーツラクタ更新	JAバンク	プール時計修繕
	芝生部分張替	ちよきんぎょ	切符売り場空調更新
	電動シャッター修繕	プール	競泳用システム整備
	バックネット裏天井ネット修繕	JAバンク	硬式ネット・ワイヤ更新
	会議室床張替	テニスプラザ	得点板更新

③ 中央武道館

◆受託施設：柔道場、剣道場、弓道場、研修室

◆利用状況

平成29年度は、前年度に比べ施設利用者数は増加し、施設利用件数は減少しました。これは国体強化行事への参加人数が増加したことと、半日券利用者が定期券利用に移行したことが主な要因です。施設使用料は、ほぼ横ばいとなっております。引き続き利用促進を図るとともに、多様な用途での利用策を講じてまいります。

	平成29年度	平成28年度	増 減
施設利用件数	2,506件	2,906件	▲400件
施設利用者数	37,634人	36,700人	934人
施設使用料	約3,161千円	約3,162千円	▲約1千円

◆施設の管理状況

施設・設備の老朽化が進む中、日常的な点検・整備体制を強化し事故の予防・美観の維持に努めました。また、館内案内サインの刷新や、点字ブロックの補修を行い施

設の利便性、安全性の向上に寄与しました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
柔道場	場内外清掃	畳、観覧席、倉庫、師範控室の清掃	週1回、毎日
	用器具整備	放送設備、審判器具、ホワイトボード等の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
剣道場	場内外清掃	床板、観覧席、倉庫、師範控室の清掃	週2回、毎日
	用器具整備	放送設備、ホワイトボード等の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
弓道場	場内外清掃	射場、的場、鑑的、師範控室、矢取道等の清掃	週1回、月2回等
	用器具整備	放送設備、的、黒板の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
室 研修	室内外清掃	畳、脱衣室、浴室の清掃	毎日、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・座布団の配置	大会時
地下	室内清掃	更衣室1～3、脱衣室、シャワー等の清掃	毎日、随時
周辺	館外清掃	落葉、ゴミ等の清掃	2日1回
	芝生・植栽管理	芝刈り、施肥、除草、剪定作業等	随時

(主な修繕)

弓道競技用トランシーバー更新	剣道場排煙窓修繕
玄関前点字ブロック修繕	館内案内サイン更新

(2) スポーツ普及のための健康教室の開催

指定管理施設を利用して、次のような健康教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い層の方にスポーツに親しんでいただきスポーツの普及に努めるとともに、高齢者等の生活習慣病の予防や子どもの体力向上等を図ってまいりました。

より多くの方々の教室参加が可能となるよう、前期・後期に分けての参加者募集を引き続き実施するとともに、今年度は新たな取組みとして、夜間の短期集中型教室を実施し、これまで参加の難しかった社会人の運動機会の向上に努めました。

開催場所	事業名	開催日(回数)	参加延人数
鳴門	キッズスポーツ教室	5月～ 3月(29回)	441人
	ジュニアスポーツ教室	5月～ 3月(59回)	1,066人
	わんぱくスポーツ教室	5月～ 3月(60回)	1,568人
	バウンドテニス教室	5月～ 3月(29回)	235人
	燃焼系格闘技エクササイズ教室	5月～ 3月(29回)	933人
	生き生き生活向上塾	5月～ 2月(30回)	669人
	脱メタボ・ヨガ教室	5月～ 2月(29回)	1,757人

鳴門	ハツラツ健康教室	5月～ 2月(29回)	1, 236人
	ストレス発散！ スポンジテニス教室	5月～ 3月(59回)	812人
	ウェル COME 長寿教室	5月～ 2月(30回)	831人
	ロコモ予防教室	5月～ 3月(29回)	1, 050人
	⑩Reborn 体幹教室	10月～ 3月(30回)	253人
	⑩生活習慣病予防教室	5月～ 3月(59回)	1, 536人
	短期水泳教室	8月(15回)	40人
	書道教室	8月(1回)	4人
	健康増進部講習会	11月(1回)	28人
	⑩認トレ講座	3月(1回)	28人
	小計		12, 487人
蔵本	Let' s ダンス♪	5月～ 2月(30回)	949人
	⑩肩こり解消体操	5月～ 2月(30回)	625人
	バウンドテニス教室	5月～ 2月(29回)	689人
	トレーニング教室	5月～ 2月(29回)	604人
	ビジョンヨガ教室	5月～ 2月(59回)	1, 116人
	ジュニアスポーツ教室	5月～ 2月(29回)	650人
	わんぱくスポーツ教室	5月～ 2月(30回)	774人
	親子うんどう教室	5月～ 2月(30回)	441人
	キッズ・ベーシックイングリッシュ教室	5月～ 2月(29回)	274人
	楽しくピンポン	5月～ 2月(29回)	859人
	ロコトレ&ストレッチ	5月～ 2月(30回)	955人
	体幹トレーニング教室	5月～ 2月(30回)	926人
	スポンジテニス教室	5月～ 2月(30回)	589人
	⑩ストリートダンス	5月～ 2月(30回)	353人
	⑩シュレイ先生のやさしい英会話	5月～ 2月(29回)	253人
	⑩ステップエアロ	5月～ 2月(30回)	740人
	ハツラツ健康教室	5月～ 2月(29回)	718人
	短期水泳教室	8月(19回)	248人
	⑩初心者ナイトテニス教室	11月～ 12月(5回)	35人
	⑩楽しくシェイプアップ教室	11月～ 12月(5回)	79人
	超実用！ ボールペン字教室	8月(1回)	7人
	書道教室	8月(1回)	11人
	男性のためのトレーニング講習会	1月(1回)	18人
	女性のためのトレーニング講習会	2月(1回)	29人
	スポーツ栄養学応援講座	3月(1回)	15人
小計		11, 957人	

中央	高齢剣道教室	4月～ 3月(48回)	682人
	はじめての太極拳教室	5月～ 8月(15回)	63人
	太極拳教室	4月～ 2月(30回)	163人
	Returns 弓道	5月～7月(10回)	18人
	初心者弓道教室	10月～2月(15回)	94人
	小計		1,020人
合計			25,464人

(3) スポーツ普及のためのイベント等の実施・支援

スポーツ王国とくしま推進会議との共催による「ファミスポカーニバル」を開催し、スポーツの普及・促進に取り組みました。

開催場所	事業名	開催日(回数)	参加人数	事業内容
アミノバリューホール	ファミスポカーニバル	12月(1回)	2,000人	1 よしもと芸人による体力測定会 2 こどもあそび・スポーツ体験コーナー 3 ニュースポーツ体験コーナー 4 ポージングステージ 等

また、鳴門渦潮高校専攻実技種目へのトレーナー派遣経費やスポーツ普及のためのイベント等を支援することで、スポーツの普及・振興及び競技力の向上に取り組みました。

事業名	協賛団体等	支援内容等
スポーツ普及イベント等事業助成事業	徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	県内外の総合型地域スポーツクラブの相互連携強化と普及促進を目的とした「総合型地域スポーツクラブ交流大会 in 徳島2018」の運営に要する費用
スポーツ科学科支援事業助成事業	鳴門渦潮高校 スポーツ科学科支援事業実行委員会	渦潮高校スポーツ科学科における日常の教育活動や大会・遠征等に従事するトレーナーや栄養面・心理面の指導に必要な人件費及び旅費、並びにその活動に伴い必要とされる備品や消耗品の購入
中学校武道・ダンス必修化支援事業助成事業	徳島県女子体育連盟	中学校学習指導要領におけるダンスの指導内容や指導方法についての研修を行い、指導者の指導力向上を図ることを目的とした「徳島県学校ダンス講習会」及び「ダンス研究会」に係る人件費等

3 生涯スポーツ普及受託事業（その他事業2）

(1) スポーツアプローチ推進事業（徳島県から広域スポーツセンター事業として受託）

総合型地域スポーツクラブの意義や必要性についての理解を深め、創設・運営など

に必要な知識を習得するための講習会を実施し、クラブマネジャーの養成に取り組みました。また、クラブの要請に応じて専門のスポーツ指導者を派遣することにより、クラブが提供するプログラムサービスの充実に取り組みました。

事業名	とき	ところ	参加者数
クラブマネジャー等養成事業 ○クラブマネジャー養成講習会(7月) (内容)7月に3日間の集合学習を実施。	平成29年7月 ～平成30年2月	鳴門市他	修了者 14人
クラブマネジャー研修事業 ○クラブマネジャー研修事業 (内容)総合型地域スポーツクラブの資質向上のため、スポーツツーリズム事業推進の観点から旅行業法について研修会を実施。	平成29年12月2日	鳴門市	参加者 20人
スポーツ指導者派遣事業 ○ラージボール卓球教室 (NPO 法人ひょうたん島クラブ) ○ハレエ風インナ-マッスルサークル(K-Friends) ○ジュニア-タルスポーツ教室(K-Friends) ○格闘技エクササイズ(Rex なかがわ) ○ジュニア体操教室 (NPO 法人みなと小松島スポーツクラブ)	平成29年6月 ～平成30年2月	徳島市 勝浦町 勝浦町 阿南市 小松島市	(842人) 56人 46人 32人 168人 540人
エリア会議開催事業 総合型地域スポーツクラブを県内3エリアで分けて、エリア内の情報共有やクラブ間のネットワーク構築を目指して開催した。 ○県西部エリア会議 ○県中央部エリア会議 ○県南部エリア会議	平成29年11月17日 平成29年12月20日 平成30年1月11日	美馬市 藍住町 阿南市	(42人) 14人 10人 18人
スポーツサポーター養成事業 ○災害時健康サポーター養成事業(2回) ○子ども元気サポーター養成事業(3回) ○認知症予防健康サポーター養成事業(2回)	平成29年6月9日 平成29年9月16日 平成29年5月13日 平成29年7月20日 平成29年9月6日 平成29年12月6日 平成30年2月13日	鳴門市 阿南市 徳島市 徳島市 徳島市 美馬市 藍住町	(182人) 51人 30人 22人 10人 8人 28人 33人
○すだつネット登録者数(指導者等登録数)	通年で受付		352人
クラブ拠点活用促進事業 ○ロコモ予防運動教室(10回) (カバロスと地元老人会との連携事業) ○いきいき健康教室(20回) (NARUTO 総合型 SC と社協との連携事業) ○高齢者ニュースポーツ講座(3回) (県老人クラブ連合会との連携事業) ○男性対象の料理&栄養教室(4回) ○那賀よしフェスティバル (那賀よしクラブ等との連携事業)	平成29年7月～ 平成30年2月 平成29年7月～ 平成30年2月 平成29年11月～ 平成29年12月 平成30年1月～2月 平成30年2月11日	徳島市 鳴門市 三好市他 海陽町 那賀町	(897人) 65人 258人 155人 29人 100人

○あいずみ SC 交流運動会 (徳島大学の学生等との連携事業)	平成29年7月8日	藍住町	244人
○フットサル教室	平成30年2月～3月	阿波市	46人
生涯スポーツ団体連携事業 「平成29年度生涯スポーツ推進団体 連携会議」(県庁1104会議室)	平成29年9月28日	徳島市	12人
広域スポーツセンター運営費			
○会議参加 四国ブロッククラブネットワークアクション2017	平成29年11月	高知県	1人
○普及啓発活動 新規創設検討クラブ等への支援(2団体)	平成29年4月	阿南市他	9回
既存クラブ等への会議参加・指導・助言	～平成30年3月	徳島市他	47回
広報活動		徳島市他	3回
日本スポーツ協会関係会議		東京都	2回

(2) 総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業 (徳島県体育協会から受託)

徳島県における体育・スポーツの普及及び発展を図るため、総合型地域スポーツクラブの創設や育成を支援し、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
総合型地域スポーツクラブ普及事業 ① 啓発リーフレット2,000部作成・配布 ② 総合型地域スポーツクラブの普及啓発 ③ 普及啓発を兼ねたロコモ予防講座実施 ④ 総合型未設置の牟岐町にて普及啓発 を兼ねた健康教室実施	②平成29年11月5日 ③平成29年12月4日 ④平成30年3月12日	②徳島市 ③徳島市 ④牟岐町	③11人 ④33人
総合型地域スポーツクラブ育成事業 ① 県連絡協議会からの情報及び、県内クラブ等の情報共有を目的としてリーフレット作成(1,000部作成・配布) ② 訪問指導等 (県内総合型クラブの会議等へ出席) ③ 全国スポーツクラブ会議への出席 (スタートアップ会議)	平成29年4月 ～平成30年3月	②阿南市他 ③東京都	27回 1回
総合型地域スポーツクラブ自立支援事業 ○講師派遣	平成29年12月 ～平成30年3月	あわスポーツ クラブ他 4クラブ	157人

(3) 共生共楽スポーツ推進事業 (徳島県から受託)

総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある人とない人が共に楽しむことができる運動プログラムを提供し、地域における障がい者スポーツの実施機会の拡大を図るとともに、障がい者スポーツの普及に向けた体制及び環境の整備を図ることを目指し、事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
共に楽しむスポーツ教室の開催 (あいずみSC、うだつコミュニティSC、 NARUTO 総合型SC)	平成29年9月 ～平成30年3月	うだつアリーナ他	749人 (内障がい者 445人)
共生・共楽スポーツフェスタの開催	平成30年1月28日	徳島県立 障がい者 交流プラザ	800人
成果報告会	平成30年3月3日	徳島健祥会 福祉専門学校	45人
障がい者スポーツの普及啓発 (勝浦町ビッグひなまつり会場)	平成30年2月～3月	勝浦町ビッグ ひなまつり会場	
障がい者スポーツの普及啓発 (啓発リーフレット 1,000 部作成・配布)			

4 総合型地域スポーツクラブ地域活性化推進事業（その他事業3）

少子高齢化を背景に、健康寿命の延伸や介護予防、子どもや幼児の運動能力向上が求められている中、各地域でのスポーツ活動の推進を目的に、県内の総合型地域スポーツクラブの取組みや運営を支援しました。また、多世代の健康増進、地域の活性化（集落再生）や県民のスポーツ実施率向上を目的とした事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数
(1)スポーツを通じた地域活性化事業			(1, 413人)
○うだつCSC (カローリング、笑いヨガ)	平成29年7月 ～10月	美馬市脇町	86人
○SC美馬 (子ども園リズムダンス教室)	平成29年6月～1月	〃 美馬町	724人
○いけだSC (親子ポッチャ体験)	平成29年7月23日	三好市東祖谷	60人
(ロコモ予防教室)	平成29年12月5日	〃 井川	24人
(にし阿波健康防災フェスタ)	平成29年10月	三好市三野町	38人
○那賀よしC (那賀よしフェスティバル 2018)	平成30年2月12日	那賀町	100人
○海陽愛あいC (健康ポイント事業)	平成29年8月～2月	海陽町	200人
○木屋平SC (認知症予防運動講習会)	平成29年10月12日	美馬市木屋平	15人
○NARUTO 総合型SC (幼児の運動能力調査)	平成29年10月 ～12月	鳴門市	166人
(2)スポーツツーリズム形成支援事業		勝浦町	(72人)
○K-Friends (阿波勝浦満喫フォトオリエンティング) ※ビッグひな祭りと連携	平成30年2月25日		72人

(3)若者参画事業 ONARUTO 総合型SC (チャレンジキッズのオリエンテーリング)	平成29年8月25日	鳴門市	(40人) 40人
(4)成果報告会	平成30年3月3日	徳島市	45人
事業参加人数合計			1550人

5 売店等運営事業

第3期指定管理より、「受託施設の売店（自動販売機を含む）は、指定管理者が自主事業として設置する場合に対してのみ、設置許可を与えるものとする。」こととなりました。本年度は利用者ニーズを反映し、鳴門・大塚スポーツパークにおいて自動販売機を新たに5台設置し、それらの設置により得た収益は修繕費等の管理運営に充て、さらなる利便性・安全性の向上を図りました。

6 管理部門

(1) 評議員会・理事会の開催

- 平成29年5月18日 平成29年度第1回（通常）理事会
 - 【承認事項】・平成28年度事業報告について
 - ・平成28年度決算について
 - ・平成28年度公益目的支出計画実施報告書について
 - 【決議事項】・評議員及び役員候補者について
 - ・定時評議員会の開催について
 - 【報告事項】・職務執行状況について
- 平成29年6月7日 平成29年度第1回（定時）評議員会
 - 【承認事項】・貸借対照表について
 - ・損益計算書（正味財産増減計算書）について
 - 【決議事項】・評議員の選任について
 - ・理事の選任について
 - 【報告事項】・平成28年度事業報告書について
 - ・平成28年度公益目的支出計画実施報告書について
- 平成29年7月3日 平成29年度第2回（臨時）理事会（みなし決議）
 - 【決議事項】・平成29年度事業報告書の変更（案）について
 - ・平成29年補正予算（案）について
- 平成30年3月1日 平成29年度第3回（臨時）理事会（みなし決議）
 - 【決議事項】・理事の候補者等について
- 平成30年3月5日 平成29年度第2回（臨時）評議員会（みなし決議）
 - 【決議事項】・理事の選任について

- 平成30年3月28日 平成29年度第4回（通常）理事会
 - 【承認事項】・平成29年度収支補正予算（案）について
 - ・平成30年度事業計画（案）について
 - ・平成30年度収支予算（案）について
 - 【決議事項】・常務理事の選定について
 - 【報告事項】・執務執行状況報告について
 - ・指定管理施設の管理運営に関する基本協定書の一部を変更する協定書の締結について

（2）監査の実施

平成29年5月8日、平成28年度事業及び決算について監事から監査を受けました。

監査の結果、事業報告、理事の職務執行、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は適正であると認められました。

（3）法人の経営等に関する情報公開

貸借対照表（平成29年3月31日現在）を主たる事務所が置かれている鳴門総合運動公園体育館（アミノバリューホール）に掲示して広告するとともに、定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減内訳表をホームページで公開しています。

（4）人材の育成

業務に有用な資格取得を積極的に奨励し、平成29年度には、プール管理責任者（1名）、中高老年期運動指導士（1名）、プール衛生管理士（2名）、芝草管理技術者3級（1名）、体育施設運営士（1名）の資格を取得することができました。

なお、平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

平成30年5月

一般財団法人 徳島県スポーツ振興財団